

ラオスの現地政府・病院関係者が 日本の医療廃棄物処理現場を視察

豊川市の加山興業株式会社、有害廃棄物処理・管理改善

加山興業株式会社(愛知県豊川市、加山順一郎代表取締役)は、ラオスにおける医療廃棄物を含む産業廃棄物の処理事業展開を目指し、独立行政法人国際協力機構(JICA)の行う「中小企業・SDGs ビジネス支援事業～普及・実証・ビジネス化事業～」を2018年12月から実施しています。

ラオスでは処分場にある焼却炉の処理能力を超過する医療廃棄物が未処理のまま埋め立てられ、また、医療機関においては感染症予防・管理ガイドラインが存在するものの清掃員の理解不足により分別された医療廃棄物が一般廃棄物と混合されるなど、有害廃棄物処理に関する課題が多くあります。加山興業株式会社は多様な廃棄物処理技術を駆使した独自の「統合廃棄物処理システム」を活用し、ラオスにおける医療廃棄物の適切な処理を実現するとともに、日本の医療機関における適切な分別・管理・運搬などの運営技術を移転することにより、ラオスにおける有害廃棄物処理能力の向上に寄与することを目指します。

この事業の一貫として2019年4月1日から、ラオス・ビエンチャン市の廃棄物処理関係者および病院関係者が来日し、日本の産業廃棄物処理技術や医療機関における医療廃棄物の分別・管理などを学びます。

来日中の取材可能な日程は以下のとおりです。

取材を是非ご検討ください。



袋から破れ出る未処理の医療廃棄物



医療と一般廃棄物は袋の色で区別されるはずが一緒に焼却

日付	内容	場所
4月4日(木)	午後 「統合廃棄物処理システム(リサイクルプラント施設)」視察	加山興業豊川工場
4月5日(金)	午前 医療機関における医療廃棄物の分別・保管などの視察	豊川市民病院

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部センター 連携推進課 須田

TEL 052-533-1387 e-mail : jicacbic-psp@jica.go.jp